

医師や看護師の有志が集まり、介護の地域連携や退院支援などについて考える団体、CCCL（本音で地域連携のあり方を検討する会）は16日、ふたば診療所（釧路市入江町9）の研修室で「互・知・創（ごちそう）サロン」を開いた。（道永竜命）

医療と介護連携考える

現場の思い 本音で

CCCLが「互・知・創サロン」

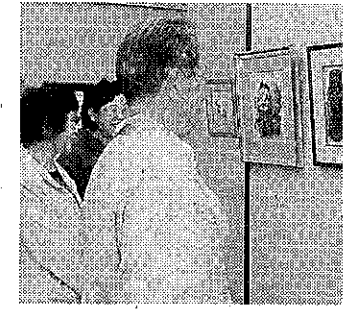
CCCLのサロンでなごやかな雰囲気語る谷藤院長（中央）



同団体は本音で地域連携のあり方を検討する会。サロンは、現在、課題となっている医療と介護の連携について、それぞれの現場で働く人たちが集まり、互いに交流を図り、情報交換を通して、普段得ることができない知識を学び、地域の連携づくりを目標とするという取り組み。

「医療とか薬剤師とか気軽に話せる相手になってほしい」と連携の必要性を述べた。また、参加者がそれぞれの専門家に対する質問カードを提出。仕事上の質問だけでなく、「しばらく歯科に行っていないがどうすればよいか」など個人的な質問もあり、終始なごやかな雰囲気であり、交流を深めていた。

(道永竜命)



釧路青年会議所釧路J.C. 後藤公貴理事長は16日、道東経済センタービルで6月定時総会を開き、2011年度の理事長に大澤恵介氏(38)をおおさわプランニング代表取締役を選んだ。大澤氏は「大好きなJ.Cと釧路のために誠心誠意励んでいきたい」と意気込みを示し「役職や出向先で、高い能力

釧路J.C.が総会 「恩返ししたい」

た。任期は11年1月1日から12月31日まで。同総会では14日に開催された理事長選挙委員会の結果、「役職や出向先で、高い能力



力強く抱負を語る大澤氏(左)と

水産食品加工 機器展示会

釧路市水産加工振興センターは22、23の両日、水産食品加工機器展示会を同センターで開く。同センターは水産加工振興の一環として、毎年この時期に最新鋭の加工機器を紹介する展示会を実施しており、今回は道内外の15社が参加する。

- 海水を直接殺菌する海水電解殺菌装置、手でサケを活締め処理する活締め器、サンマ、サバ、イカなどの重量選別器、サケのフィーラーなどから骨を除去する骨抜き器など37点が出展される予定で、X線異物検査機、災害用の炊飯釜なども紹介することになっている。
- 2日間とも午前10時から、22日は午後4時、23日は午後3時まで。問い合わせは同センター0154(31)1405。

(戸田英吾)